

市長と語る～まちづくり懇談会～ 大井

日時：令和元年 8 月 30 日（金）午後 7 時～8 時 30 分

場所：恵那市消防防災センター

地域自治区会長あいさつ

■司会 主催者の地域自治区会長があいさつする。

■会長 予定より 5 人ほど多く来ていただきありがとうございます。この会も回を重ね、私も区長のときから参加しているが年々充実して良くなっていると感じる。我々市民は行政の人と面と向かって意見交換をする機会がなかなかないので、今日のこの機会を利用したい。議員さんにも 4 人来ていただいた。議員さんにも大井町、恵那市のために頑張ってください。

この会では建設的な意見を交わしたい。特定の個人名や誹謗中傷があった場合は議長権限で中止する。8 時半までに質問が終わらなければ、文書で後ほど行政に出して文書で回答をいただく。

市長、副市長、まちづくり企画部長に来ていただいている。よろしくお願いします。

市議会議員あいさつ

■司会 地元市議の町野道明様、堀誠様、安藤直実様、西尾努様に出席いただいている。代表で副議長の町野様からあいさつをいただく。

■市議 本日はありがとうございます。堀議員、安藤議員、西尾議員と町野が参加する。よろしくお願いします。

恵那市も 10 月 19 日に 15 周年記念を行う。議会も 15 年で 30 人から 18 人に変わり、最近ペーパーレス化でタブレット端末を導入しスリム化が進んでいる。15 年で皆様には恵那市のさまざまな取り組みに理解をいただいた。物心両面から大井町のまちづくりに御支援、御尽力をいただき、敬意を表し、感謝申し上げる。

昨年はNHKの「半分、青い。」、来年は明智光秀の「麒麟がくる」がある。恵那峡再整備が進み百周年を迎える。こういったものが一過性にならないように、大井町の地域の活性化、経済につなげたい。

大井町も健康推進が地域で進んでいることや、今日も雨がたくさん降ったが防災の問題、通学路や高齢者ドライバーの安全性など多くの課題がある。皆様には大所高所からの指摘をいただきたい。

皆様の御健勝と繁栄を祈念する。

「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の主要事業について

■市長 大井町について。人口は平成 17 年 13,245 人で、ほぼ横ばいで、平成 30 年 12,999 人。13 町では一番減っていない。または、減り幅が少ない。世帯は 4,797 世帯から 5,276 世帯。ただ、子どもの生まれる数、平成 17 年 130 人、今は 95 人、121 人、105 人で、若干減っている。また、転出する人も多い。

事業。恵那病院の入口の見通しが悪く事故が起きているので、土を取って見通しを良くする。この後、工事に入る。

長島町 130 号線整備事業。市役所から郵便局へ行くところ。今 NTT がビルを壊した。狭い道だったので、このチャンスに道を広げる。今計画している。

恵那駅前惣ノ神線。恵那駅から神ノ木橋を渡ってプラザホテルの方に行ったところ。途中で道がちょっと細くなっている。地域の皆様の理解が得られそうなので、これから事業に入る。

恵那駅前で、車いすやタクシーに乗る人が雨に濡れるので、今年すべて改良して、使いやすようにする。

大井児童センターではエアコン設置が完成した。

恵那峡、中山道もあるが、今日はリニアのまちづくりの基盤整備について話す。美乃坂本に駅ができる。恵那市も全体の基盤整備をどう考えるか。都市計画的にも、人の流れ、観光、産業の面などいろいろな面で広域的に交通計画を含め地域の骨格となる道路、基盤整備を考えていく。いよいよ立ち上がる。前川会長にも入っていただくことになっていると思う。策定委員会をスタートする。大井は関係するところが多いので、ぜひ協力いただきたい。それ以外にも、恵那峡再整備もほぼ終わりに近づいてきたし、中山道も今注目されている。引き続き活性化に向けたいろいろな事業をしたい。

意見交換

(1) テーマに沿った意見交換 テーマ「子ども」と「高齢者」と「地域活動」

■司会 テーマに沿った意見交換と自由意見交換の 2 部構成で行う。(1) について、地域自治区運営協議会の委員から活動や課題について提案する。参加者の質問は 3 つの提案が終わった後にまとめて受ける。

①大井町 1 区における地域活動（1 区を考える会）

■協議会委員 1 大井町 1 区における地域活動、1 区を考える会。

初めに 1 区を考える会について。目的は、安心・安全に暮らせる 1 区、住んで良かったなど思える 1 区を作ること。1 区で志を同じくする有志に声をかけて 14 名でスタートした。

自治会長と違って1区を考える会のメンバーには任期はないので、しっかりまちづくりに取り組める。立ち上げてから5年経つが、月1回の会議は今も継続してやっている。

会議の内容は、区長会で提案のあった事柄や1区で取り組みたい事柄を検討している。今回の民生委員の選出も、会のメンバーである区長から提案を受けて、会で取り組みをした。1区を考える会はそのような活動をやっている。初年度は、1区パトロール隊を立ち上げた。現在も週に1度、登校時に見守り活動をしている。そのほか、振り込め詐欺対策研修会、救急救命講習会、行在所見学会、明知鉄道ビール列車、認知症講演会等を初年度に実施した。

その中で一番関心が高かったのが認知症予防の会だ。平成28年4月に認知症予防の会を立ち上げ、月に1回、健康体操や歌を市の包括支援センターの力を借りながら1年間実施した。好評だったので次の年は内容を一層充実させて認知症予防の会を1区健康クラブと名称を改めて、毎月第2日曜日に健康体操の会、第4日曜日は介護予防の会を実施している。そのほか、毎週土曜日、早朝ウォーキングの会、春秋にはマレットゴルフの会、月に1回のごみ拾いの会も開催している。

集う仲間は、原則1区の健康な高齢者を対象にしているが、大井町に同じような集いの場を広げていただくために、大井町の民生委員の皆さんや集いの場に関心のある方々にも参加していただいている。せっかく立ち上げた集いの場を長く続けるためには、面白楽しく指導できる講師も必要だ。国も認知症対策を積極的に推進している。大井町初め広く恵那市にたくさんの集いの場ができ、健康寿命が延びることを願っている。

そこで、今支援していただいている講師派遣費用の助成金、サポーター助成金の制度は有効かつ必要な施策であり、現状維持かむしろ手厚くする方向で御検討いただき、集いの場と助成金制度が長く継続できることを望んでいる。今後市が認知症対策、集いの場に対する助成等をどんな考えで進めていただけるのか聞きたい。

■市長 積極的に活動されていることを聞いた。ありがとうございます。そうした取り組みが、結果的に介護の負担を減らす、少しでも健康でいることにつながっていると思う。ありがたい活動だ。はつらつサポーターの予算は年間120万ぐらいと決まっている。国でも定められている。その中でやりくりしていただいている。ただ、私もマレットゴルフにもよく呼ばれるのだが、健康づくりでやっていると言っていて、ありがたい話だが、こういう介護予防、集いの場を設けて取り組んでいることについては、病気を防ぐ、健康寿命を延ばすという意味では大変効果があると思う。その意味では決してこれを狭めることなく、これからも延ばしていけるように市としてもきちんと予算を立てて支援していきたい。

■司会 支援していただけるということだ。

②子どもへの防犯対策（お〜いカフェ実行委員会）

■協議会委員2 お〜いカフェは子育てサロン事業の一環だ。子育てママさんたちが月1回ランチしながら話をしている。今年で3年目になる。恵那市福祉センターを借りて毎月開催している。ここ何回かは親子70名ほどの参加があり騒がしくやっている。福祉センターにも迷惑をかけているかもしれない。

そこで子育て支援についてのアンケートをした。子育て中のママさんたちは、こうしてほしいという場がどこにあるかも知らないので、ここで聴き、こういう懇談会でお願いできるからと、意見を出してもらった。そこで出た意見を紹介する。

丸池地内に子どもにとって危険な箇所がある。市道恵那病院線と県道恵那蛭川東白川線が接続するT字路、新東雲橋に行く道路と恵那病院の前の道路の交差点。そこは坂で大きなトラックが勢いよく走ってくるところで、見通しも悪く、登校時すごく危険だということで、毎朝横断歩道を渡るのを地域の人が見守ってくれている。下校時は時間が異なるために見守りがなかなかできないので、できたらそこに信号機をつけてほしいということが、丸池地域でもずっと要望が出ているそうだが、お〜いカフェでも要望が出た。

また、その付近は人家が少なく、林を抜ける県道の退避スペースに車が停まっている。子どもが連れ去られそうで怖い。ガードレールをつけてほしいという意見があった。

その辺を考えてほしい。

■まちづくり企画部長 子育て中の母親からの意見の取りまとめをありがとうございます。特に交通安全の話が中心になっている。信号機の設置は、平成29年から市からも信号機の設置の要望をしている。ただ、現状設置に至っていない。交通量がまだ少ないという認識で設置に至っていないようだ。改めて設置について、懇談会でも要望をいただいたので、公安委員会にさらに強く要望を継続していく。

防犯面でガードパイプなどをしてほしいということ。一度現地を確認する。多分県道敷だと思うので、県に要望したい。

③高齢者ドライバーの安全対策（民生児童委員協議会大井支部）

■協議会委員3 民生児童委員の会長です。テレビ、新聞で、高齢者ドライバーの問題が多く取り上げられている。事故が起こると、「免許を返納したらどうか」という家族会議をすることもあるようだが、大都市のように公共交通機関が行き届いていればいいが、こういう田舎のまちでは、買い物や病院に車がないと行けない。返納しなくても行ける方法があればいいが、返納しても厚い手が打てればいい。移動スーパーや、宅配サービス、コミュニティーバス、隣同士で助け合って買い物に行くなどできないか。もう一つは、返納者に期間を定めて割引タクシー券を発行する。

ただし、これらには財源が必要になる。が、そういうことも考慮していただければ暮らしやすい、住んでみたい恵那になる。一つの案だが、県が森林税を徴収しているが、恵那市もこれに代わることをやってくれば一般市民も納得すると思う。

もう一つ、返納による弊害。恵那市では農業が多い。農業をするとトラクターを使う。ただし、家の周りの田んぼだけならいいが、トラクターが公道を渡ることがある。そうするとナンバーを付ける必要があつて、届ける。返納すると公道を渡れなくなる。旧郡部ではそういう話をよく聞く。返納しても市としてできる方法として、パスポートのようなもの。これは警察もかかわるので、その辺も踏まえて検討してほしい。民生委員会でも取り上げられている。

■副市長 地域懇談会は今日が最終の13カ所目だが、その半数以上でこの問題が出た。うまく行っていそうなところ、たとえば串原のように自分たちでやっている場所、飯地も、市で車を調達するので地域でやってくださいと言って、自分たちでお金をもらってやっている。そういうところでも、将来を考えると今より厳しい状況が出る。運転手の確保が大変になる。という話が出て、市としても、辺地だけではなく市全体で、公共交通と言っていいかわからないが、移動手段を考える必要がある。

最近の動きでは、たとえばソフトバンクとトヨタ自動車がモネ・テクノロジーズという会社を作って、旧小原村で実験をやっている。携帯電話と電話の両方を使って、注文すると来るというやり方をしている。タクシーだが。うちも、ここに入って一緒に検討して行こうと考えている。間もなくモネ・テクノロジーズと協力体制を作って、恵那市の交通のあり方を考えたいと、前向きに考えている。ただ、このときに課題になるのは、地域の人の協力がどうしても必要になる。市だけでやるということにはならないと思うので、ぜひよろしく願います。市民税、パスポートという提案をいただいたので、難しいとは思いますが提案として持ち帰る。市全体として考えていきたいと思っている。

(2) 自由意見交換

■司会 参加者から質問、意見を伺う。

■市民1 都市計画税について。野尻地区は下水道が通っていない。都市計画税を恵那市はいつまで徴収するのか。都市計画税は大井町と長島町だけしか徴収していないはずだ。家を新築したときに、下水道が通らないと言われて、浄化槽にした。ところがいつまで経っても、本通りには下水管が来ているが、阿木川に流す排水路がないとできないということで、いまだに下水道が通らない。いつ下水道が通るのか、大分前に市に聞いたら、リニアが通るのでそれが終わってから計画するというので、浄化槽の補助が全然出ない。150万円浄化槽の金を自分で払って家を造った。都市計画税は何に使われるのか。いつまで大井長島に負担させるのか。

もう一つは、恵那消防署から恵那駅までの道路。御所の前から金沢町を通過して神ノ木橋への道路が広くなると前に聞いたが、最近、あれはなしになったと耳にする。大井の都市計画税が生きてこない。

■司会 3つの提案とは違うが。

■市長 都市計画税は、都市計画事業そのものに充当するというのが国の制度。大井長島は下水道、都市計画道路、都市計画公園、区画整理事業に充当するというのが制度の趣旨だ。自宅に下水道が通らなかったということは調べたいので、後ほど担当から連絡先と住所をお聞きして詳しく調べて回答する。

リニアの話があったが、広域の幹線道路、交通計画はある程度改良を計画的にやる。その中でできるかどうかだ。それと、市街地で家屋が連担している場合は、事業費が伸びるのですぐに事業の着手ができるか非常に難しい。それから、地域の皆様の理解が得られるかということがある。そのあたりを地域の皆様と相談して、可能性があり効果もあるということならぜひやりたい。そうではなければ先送りになる可能性がある。

■司会 先ほどの3つの提案についての意見はないか。

■市民2 ①の提案、簡単に言えば老人会活動、参加する人はそういう人のウエイトが非常に多いと考える。私も後期高齢者になり、それまで何となく抵抗があったが、老人会はないか市役所や友だちに聞いたら、大井町長島町には壮健クラブというのがあると。壮健クラブも数名で、稼働しているのは10人ぐらいでたまに寄ってどうこうということで、そんな活動でないように感じる。

1区の活動はいいことだが、1区だけで終わってはならない。認知症にはこの数年で5人に1人の高齢者になる可能性があるという活字も目にする。そういうことを考えると、妻としかしゃべっていない自分を思うと、買い物に週に1、2回行くものの、あとは日課のウォーキング、ガーデニングで知らないうちに一日が過ぎる。人との会話が本当でない。たまに孫としゃべるぐらいで。そんな中でぜひこれはやってほしい。1区だけであってはならない。区長会の会長ぐらいが音頭を取って、市にいろいろお願いすると同時に、13の区全部に呼びかけていただきたい。私たちもそんな気持ちでいるので、1区がきっかけを作ったという中で、区長もいるが私の自治会ではそういうお誘いもないので、ぜひお願いしたい。

■協議会委員1 民生委員や関心のある方にはぜひ来てくださいと呼びかけている。舟橋町の方、学頭の方、2区の鏡山の方もちょこちょこ寄ってくれているので、よろしければお電話いただき1区健康クラブに参加してほしい。

■市民2 下地ができてきてないとかだまのような感じになる。

■協議会委員1 了解しました。市の包括でサロンを立ち上げる会を年に4、5回開いてい

る。昨年度は8区で立ち上げようと会議を重ね、今年の3月に立ち上げた。今年度は9区が動いている。9区なら船橋町の方が動いているので入っていただけと思う。多分今年中に立ち上がる。

■高齢福祉課長 各地域にそういう活動をしていただくように、はつらつサポーター養成講座を2回行なっている。その方々を中心として各地域でそういった集いの場を作っている。今年からは「え～なみんなで助け合い」という冊子を作り、そういった活動を支援するよう配布し始めて、皆さんにお知らせしている。昨年、大井町では各地区に1つでもできるようにといろいろなところに働きかけていただいている。今年度も引き続きそういった活動をしていただいているし、地域包括支援センター、高齢福祉課としてもバックアップしていきたい。ぜひはつらつサポーター養成講座に出席してほしい。10月から始まる。

■市民3 今提案した3つの問題でしか意見は言えないのか。

■司会 そんなことはない。この後に自由意見の場を設ける。しかし時間もないので自由意見でも良い。

■市民3 通学路の問題。一昨年も話をした。恵那東中学校。大井小学校のグラウンドのところの信号のあるところから、恵那高校の同窓会館に上がっていくところ。そこが実に狭い。自転車でいくと大変危ない。何とか広くできないか。本当に危ない。朝、自転車と子どもが一緒に行く。50cmか60cmしかない。ガードレールをつけてもらったがその分狭くなった。そこを子どもが縫うようにして行く。

この間、子どもが夏休みのとき、2人ほど高校生か中学生か分からないが、横町川沿いの堤防のところをずーっと行く、信号すぐ、あの道を上がっていったので僕はついていった。そうしたら広い道だ。コンビニのそばに出た。いい道だと思った。僕ならこれを通う。その代わり堤防なのでガードレールをつけないと危ないが。一度勘考してほしい。

中山道のこと。御嵩、中津、大湫は中山道を国の史跡にした。恵那市は登録してあるか。申請したか。絶対やってほしい。恵那市の方がすごい。恵那市の一里塚。榎ヶ根から紅坂の一里塚の間。本当にすごいとよそから来た人も言う。ぜひ国の史跡に申請してほしい。そうすれば文化庁から金がどさっと下りるので整備できる。よそはそれで整備している。

実はその途中に追分がある。榎ヶ根の立場。昔発掘されたときにはとてもきれいにしておいて公園のようになっていて来られた人がびっくりしていた。しかも、大きな案内碑が建っているし、伊勢神宮の遥拝所があってお札も売っていたところだ。こんなところは中山道中にあそこしかない。それが草ぼうぼうだ。草刈りに行くと行ったら、市役所の人に「ダメ」と言われた。個人の土地だ。購入して市のものになるといい。岩村のお城と同じように。

それから、生涯学習に力を入れてみえるが、市史資料室に行ったら中に入って勉強する

ことができないようになっている。宮崎光雄先生という市史を執筆した人がいる。その人が見えていろいろ教えていただいたが、見えないようになった。ああいう人をもっと活用できるようにしてほしい。それによって、三学会などにも活用できると思う。

それから、恵那市は、特に大井から東野にかけて五輪の塔がたくさんある。この始末がお粗末な感じがする。もっと整備してほしい。先祖の御霊を供養するということもある。理解してほしい。

■市長 ありがとうございます。通学路の件は言われたことを覚えています。確か、学校と調整をした結果あのままで十分だという答えが出たような気がする。心配と学校の現場と食い違っていると今改めて思ったのでもう一度検討する。

中山道の今の話は大変嬉しかった。市長の立場でいろいろな市町を見ている中では、恵那の中山道が弱くなっているというのが正直なところだ。ほかの市町は今やっと中山道に手を入れ始めた。注目して整備を始めた。それに比べ恵那は早かった。その分ほかのところに手が回っていて中山道に手が回っていない。ただ、国宝級だとか国指定になりそうだということがあれば、一度伺うのでよく話を聞かせてほしい。可能性があれば何とか活かしていきたい。

生涯学習の資料も含めて、先生の活用のことも、持ち帰って検討する。

五輪の塔。東野で、小学校のときから五輪の塔の話はよく聞いていた。手入れは、担当課は手が回らないと言うだろうが、どの程度までできるか検討する。

■市民4 恵那市の青少年育成委員と、大井町の青少年育成委員をやっている。

一点お願いがある。大井町の青少年育成委員ではメイン事業でマスつかみ大会を9月にやっている。それとは別に、ここからは人づての話だが、ふれあい交流会というのがあり、大井町の自治会の一部の事業としてやられているようだ。小学生対象に、年末にしめ縄づくり、ゴールデンウィークにレクリエーション大会を体育館で、イベントをやっている。趣旨が全く一緒で、なおかつ青少年育成委員にその会に協力してくださいという依頼がある。大井町の自治会から2万円ぐらい補助が出ていてふれあい交流会をやっているのだから、全く趣旨が一緒なら、本来なら青少年育成委員の事業としてやるのが一番いいと思うので、その予算を青少年育成委員の大井町の予算に回していただき、青少年育成委員の中でふれあい交流会の事業をやるのがいいと思う。

大井町の市の組織がどうなっているのかよく分かってないが、情報の交流がないからよく分からない。青少年育成委員をやっている大井町の自治会でどういうことをやっているかという情報が全くない。それと、予算に関しては、これは私の推測だが、青少年育成委員は教育委員会の関係の予算で動いていると思う。大井町の自治会は別の部署から予算が出ている。多分上の責任者同士でそういう会話がなかったのが原因だと思う。

■会長 今回の質問は、大井自治区の事業であり、行政と全然関係ない。大井自治区の中に青少年町民会議という組織の団体がある。もう一つは、ふれあい交流会をやってくれる団体がある。そのいずれにも大井町の自治区の予算から少し助成をしている。疑問があれば、青少年町民会議の会長に話をし、その会長は大井自治区の運営協議会のメンバーになっているので、そこで協議会の中で発言していただき、予算、活動についてそこで揉んでいきたい。私も運営協議会の会長をやっている。今の質問は市長にする内容ではない。

■市民4 それで、市から自治会に補助金が……。

■会長 ない。

■市民4 その予算はどういう予算か。

■会長 大井の自治区は、運営資金を市から大枠でいただいております、その中で年間の行事、皆さんの団体から来ている行事をこういうことをやりたいというのに合わせてそのところどころに運営費として出している。直接町民会議と市役所のどこかがつながっているということはない。

■市民4 でも市から補助金が出ていて、その補助金の一部をそのふれあい交流会で利用しているという理解でいいか。

■会長 そうだ。市からまとめて大井地区に金が来ている。市はそれをどう使っているかは感知していない。

■市民4 でも補助金なので使途は恵那市に報告しているのでは？

■会長 している。

■市民4 なのでそういうことを理解してほしいというのが発言の趣旨だ。

■会長 分かった。

■市長 ふれあい交流会と青少年の活動で重複していて使途がかぶっているという意見だ。私どもとしては、使途を特定して、これじゃないとダメとか、かぶってはダメと言っているわけではない。自由な裁量で各地域活用いただくのが大前提だが、不合理だとか非効率だということがあれば声を上げていただき、私どももある程度のチェックをするが、地元の皆様含めて検討いただきたい。

市長お礼のあいさつ

■市長 活発な意見をいただきありがとうございました。すぐできるものもあるし、時間が必要なこともある。各地域の皆様からいただいた意見に反応して、持ち帰り、検討し、できないは別としてまずチャレンジしてみるのも、今日の意見も持ち帰り、それぞれの担当課で検討し、できるものはすぐやる。

この時期に行ったのは、来年度予算に間に合うことがあれば組み入れたいということだ。

今日言い足りないことがあれば、いつでもいいので、意見を寄せていただきたい。振興

室長や課長もいるので、届けてほしい。少しでも住みよい恵那市を作っていきたい。

■司会 以上で終了する。

[閉 会]